

先号まで2回にわたって、日本のオリエンテーリングシーンでインターネットがどのように利用されているのかを説明してきました。今回は日本の代表的なオリエンテーリングサイトである orienteering.com についてお話しします。

ドットコム先駆け

「orienteering.com」というオリエンテーリングとして世界で最も代表的とも思えるインターネット上の名前を取得しているコンピュータが日本にあります。

インターネットでの名前はドメイン名と呼ばれ、基本的に届け出順に発行されます。1996年に筆者の木村が、長野県オリエンテーリング協会の名目でインターネットのドメイン名を管理する団体に届けを出し、orienteering.comを取得しました。今でも orienteering.com の登録名として長野県オリエンテーリング協会の名前が登録されています。

1996年当時は、今ほどインターネットが普及しておらず、こうした超メジャーとも思えるドメイン名がまだまだ楽に取得できた時代でした。最近では覚えやすいドメイン名を取得することは難しくなっており、時々訴訟問題に発展しているケースもあります。

なぜ、orienteering.com のドメイン名を長野県 OL 協会が取得したのか？ その動機は1998年の長野オリンピックにあります。

Nagano1998 から世界に

オリエンテーリングでオリンピック入りを目指す IOF と、日本のスキーの発祥地とも言える菅平高原とが協力して、「菅平高原国際スキーオリエンテーリング大会」を長野オリンピックの開会2週間前に開催しました。これは長野オリンピックの文化プログラムという位置づけで、デモンストラーションとして実施されました。

このイベントの準備が始まったのが1995年でした。世の中はすでにインターネット時代に突入しており、この国際スキー大会でもインターネットによる情報発信の必要性に迫られておりました。こうしたイベントはどれだけ広報できるかということが、そのイベントの成否を決めると言っても過言ではありません。

こんな中、インターネットのドメイン名を色々検索し、調査してゆくと、なんと orienteering.com を誰も取得していないことが判明し、すぐさま取得に動きました。このような非常に覚えやすいドメイン名を取得すれば、国際スキー大会の広報が一気に楽になるはずだからです。

このように書くとなんだか組織的に動いたように感じられると思いますが、実際は木村が個人で取得に動いています。

というのも当時、「ドットコムのドメイン名」といっても判ってもらえる人も殆ど無く、予算だってそのために確保されている訳ではありません。またどれだけ価値があるのかもその時には漠然としたものでした。

しかし、ネット時代は即断即決のスピードがこの先を大きく左右します。そこで orienteering.com に関しては組

織的に動くのではなく、すべて木村個人のリスクで投資し運営を始めることになりました。木村はこの時すでに長野県 OL 協会の広報担当理事を務めていましたので、名義だけは長野県 OL 協会を使用しました。このような大それたドメインを使用する時、個人の名義ではなく、オリンピックを行う NAGANO の名前を使用したほうが良いという判断でした。そしてイベントが終了したら、orienteering.com のドメイン名はいつ放棄しても良いと、その時は思っていました。

1998年1月、当初の目的であった、菅平高原国際スキー大会は終了しました。世界中から参加した競技者から素晴らしいレースであったと聞き、ほっとしたのが心境でした。そして、その結果を大会のホームページで報道して、orienteering.com は当初の目的を終えました。

そして日本のオリエンテーリングサイトのポータル(入口)に

こうした時間の流れの中で、当時唯一のオリエンテーリング雑誌であった「O-Japan」が休刊してしまいました。これによってオリエンテーリングの情報は一部のマニア以外には行き渡らなくなりました。ますますオリエンテーリングの情報はインターネットが頼りとなってゆきます。

こうした理由で、オリエンテーリングの世界では世間一般より早く電腦化が進んでゆきます。この当時からオリエンテーリング関係では色々なインターネットのサイトがあるのですが、あくまでも個人のサイトの範疇だったり、単発イベントのサイトであったりと、各種サイトを包括したリンク集が充実していませんでした。

そこで自分で色々なサイトを渡り歩くのに便利なように各サイトのリンク集(各サイトへのガイド)を作成し、これを orienteering.com に掲載しました。

また、web ページを持つオリエンテーリング大会に直接リンク張るなどして日本のオリエンティアに便利なページとなるように工夫をしてみました。

こうしていくうちに、色々な人が、この orienteering.com をよく参照して下さるようになりました。こうなるといろんな方から広報したいサイトや大会のアドレス(URL)なども教えていただくことが多くなり、自然に情報が集まるようになってきました。

現在の orienteering.com

現在の orienteering.com は1998年5月にサーバ(コンピュータ)を一新し、処理能力を向上しました。その上で多くの団体に orienteering.com を使用していただいています。長野県 OL 協会はもとより、埼玉県 OL 協会や日本学連と各インカレの実行委員会、そのほか50を超える団体に利用されています。

サーバも3年を迎えようとしているため、そろそろ故障の事も考えておかななくてはなりません。

orienteering.com サーバへのアクセスはこちら！
<http://www.orienteering.com/index-j.htm>

「解説 インターネットと日本のオリエンテーリング」は今回で終了します。